

令和8年度 社会学類編入学試験

【社会学】

専門科目問題冊子

(注意事項)

- ・問題冊子1部、解答用紙2枚が配られているか、確認してください。
- ・これは、社会学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・社会学の専門科目の問題冊子は、表紙を除いて3ページあり、問1～問2の設問によって構成されています。すべての設問に解答してください。
- ・解答用紙は問1、問2で1枚ずつ使用してください。また、解答用紙の冒頭には、設問番号を必ず記入してください。設問番号が明記されていない場合、採点されないことがあります。
- ・解答欄が足りない場合には、それぞれの解答用紙の裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面に続く」旨記入してください。

次頁以降の文章は、エドワード・W・サイード（著）、板垣雄三・杉田英明（監修）、今沢紀子（訳）『オリエンタリズム 上』平凡社、1993年（=Edward W. Said, *Orientalism*, Georges Borchardt Inc., New York 1978）の一部である。この文章を読み、以下の問いに答えなさい。

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

問1：傍線部について、本文の内容を踏まえ、その特徴がいかなるものであるのかを説明しなさい。そのうえで社会学的な方法論にとって「言説」概念がどのような意義と限界を持っているのかを説明しなさい。

問2：具体的な経験的対象を自由に選んだうえで、本文で紹介された「オリエンタリズム」という考え方を参照しながら、その対象について社会学的な考察を論理的に展開しなさい。

※出題にあたっての注記

・ミシェル・フーコー：1924年～1984年。フランスの哲学者。著書に『狂気の歴史』、『臨床医学の誕生』、『言葉と者』、『知の考古学』など。

・レヴァント：東部地中海沿岸地方の歴史的な名称。広義にはトルコ、シリア、レバノン、イスラエル、エジプトを含む地域。